

日本の「領土・主権」を考える

北方領土・竹島・尖閣諸島パネル展

地図と測量による領土の明示パネル展

北方四島

北方四島には約17,000人の日本人が暮らしていました。



歯舞群島 多楽小学校の大運動会(1937年)
提供:千島歯舞諸島居住者連盟

竹島

竹島ではアシカの捕獲やアワビなどの採取を行っていました。



竹島で猟をする人たち(1934年)
提供:鳥根県竹島資料室
撮影:大阪朝日新聞社

尖閣諸島

尖閣諸島では200人以上の日本人がカツオ節などを作って生活していました。



尖閣諸島魚釣島(1908年頃)
提供:那覇市歴史博物館



火山活動により拡大している西之島。
測量の結果、面積が約9倍に、
標高は最高160mに。



国土の正確な位置を示す国家基準点(三角点)。写真は長崎県に設置した三等三角点「肥前島島南小島」。



空中写真を撮影し地図を作成しています。
尖閣諸島魚釣島(地理院地図)。

2023年 **10.24** 火 - **12.17** 日 月曜休館 9:30~16:30

入場無料



地図と測量の科学館
MUSEUM / index.html
https://www.gsi.go.jp/

[共催]
内閣官房 領土・主権対策
企画調整室 / 国土交通省
国土地理院

